

JR東海葛西会長の原発再稼働発言を許すな！

葛西会長は原発再稼働派世論に逆行！

JR東海葛西会長は7月8日付け『読売新聞』紙上で「原発再稼働」を積極的に認める発言をしました。

昨年の3・11以降福島県の多くの住民は、今現在も生まれ育った故郷を離れ、放射能からの避難生活を余儀なくされているのです。なぜ「原発の再稼働」という発言が出されるのでしょうか。

私たちはこの発言に対し、JR東海で働く者として強い怒りをもって、8月29日の協約・協定改訂の団体交渉の場で撤回を要求しました。

浜岡原発は駿河トラフの真横 それでも原発再稼働はリニアのため！

この間、私たちはJR東海との協議の中で静岡県
浜岡原発は東海道新幹線から20キロ圏内にあること
を指摘し、安全対策等を要求していますが、JR東海
はここでは議論しないと完全に逃げています。

また、JR東海管内で原発事故が発生した場合につ
いてJR東海の考え方を質しました。日本政府も原発
事故を仮定してどのような避難経路を考えたら良いの
かが議論されています。

しかしJR東海は、仮定の話は議論しないと突っぱ
ねました。このような態度は事故・震災が起きてから
でないと議論しないとやっていることと同じです。

浜岡原発は駿河トラフの真横にあるのです。現在浜
岡原発は稼働していませんが、核燃料が冷却プールに
多数入っているのです。事故・震災が襲った場合、私
たちはどうなるのでしょうか？

JR東海労新幹線地本は、全ての
核・原発に反対していきます。



駿河トラフ（するがトラフ）とは
ユーラシアプレート東端とフィリピン海プレート北端の接する南海トラフ（左太い線）の内、特に北端部の駿河湾内に位置するトラフ。すぐ北東側には相模トラフがある。
ユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートが常に潜り込みを続けており、駿河トラフで東海地震が発生すると考えられている。

東京電力の電気料金値上げ反対！浜岡原発を直ちに廃炉に！

「電気料金の値上げ」は容認できない！

東京電力は9月1日、家庭向け電気料金を平均で8・46%引き上げました。本格的な値上げを実施するのは32年ぶりですが、電気料金の値上げなどんでもない話です。自らが安全管理を怠ったがために原発事故を起こしたにもかかわらず一部の電力関係者の利権を保証し、膨大な賠償費用と廃炉費用などの負担を国民に押し付けるものです。さらに、東京電力は役員報酬の復活もきめています。

原発なくとも電力は大丈夫だった！

関西電力は9月7日、夏の電力供給力について、大飯原発を再稼働しなかった場合でも政府が「最低限必要」とした3%を超える余裕があったとの試算を明らかにしました。同社は電力不足を訴えて再稼働を強行したが、必要なことを自ら認めたのです。

この事実は、日本に原発なくとも、電力は十分賄えることを意味します。大飯原発は直ちに停止すべきです。

「岩盤が軟弱」で最も危険な浜岡原発！

平成23年5月、当時の菅総理は、浜岡原発の運転停止を中部電力に要請しこれを中部電力は受け入れました。

政府は、運転再開の条件として、東海地震に耐えられること、防潮堤の建設、などを示しました。しかし、どのように耐震化しようと、浜岡原発の建設地は200年周期でM8クラスの地震が起きており、岩盤が断層、亀裂だらけで、地震に非常に弱い地盤です。建造物の耐震では限界があります。建設中の防潮堤(19メートル)も南海トラフ大地震で予想される津波の高さが21メートルでは役に立ちません。

浜岡原発での事故は直ちに首都圏で暮らす私たちの生活を脅かします。浜岡原発はただちに廃炉にすべきです。

福島第一原発事故の罪の深さ！

復興庁は、3月末時点で福島県内の震災関連死認定を764人と発表しました。双葉郡8町村、南相馬市は、原発事故による自殺者も関連死と認定したことを認めました。

被爆によって亡くなられた方はまだいませんが、福島第一原発事故は、確実に人の命を確実に奪っています。山河、海を放射能で汚染し、農業、

漁業を壊滅的にして、そこに従事する人の「生きる糧」を奪い去りました。

5年先、10年さきに、被曝による健康被害があらわれることは明らかです。これは人災です。

政府・東電幹部は、役員報酬を復活するまえに国民の前で懺悔し被災された方の救済に向けて全力を傾注すべきです。



J R東海労働組合新幹線地方本部
〒104-0032
東京都中央区八丁堀 2-1-2 水沢ビル 2 F
Tel.03-3551-2240
jrcushinkansen@yahoo.co.jp